

平和委員会の憲法講座

第1期

81年前の第二次世界大戦の終結を受けて、日本国憲法公布80年の今、世界では戦乱が絶えません。それどころか平和な世界をめざした国連中心の秩序を、ほかならぬ安保理常任理事国が率先して踏みにじる重大局面が生まれています。そうした中、高市政権は、大軍拡により憲法と平和を破壊する道を、米トランプ政権に付き従いながら突き進もうとしており、9条の明文改憲も企んでいます。いまこそ、憲法に基づく平和への道をしっかりと学び、運動の糧とする時です。憲法学習講座（オンライン）を下記のように開催します。ふるってご参加ください。

時間はいずれも18:00~19:30 ※参加費無料、会員不問、要申し込み

右記URLもしくは二次元コードよりお申し込みください。各講座の入室情報・資料等については、講座前日までにお申し込みのメールアドレスへお送りいたします。お申し込み以降は、全ての講座のご案内をお送りいたします。

<https://forms.gle/xgYNYEMoePRbBULbA>



多彩な講師陣



小沢 隆一



永山 茂樹



岸 松江



石川 康宏



川田 忠明

第1回 日本国憲法9条の意義

2026年7月3日（金）

日本平和委員会のYouTubeからアーカイブをご覧ください

全世界で5000万人以上が犠牲になった第二次世界大戦の末に生まれた国連憲章と日本国憲法9条とは「深い関係」にあります。非武装平和主義の9条は「国際紛争の平和的解決」の国連憲章と『双子』の関係で誕生した人類史の到達点であることを学びます。

講師／小沢 隆一

東京慈恵会医科大学名誉教授・日本平和委員会理事

第2回 憲法9条はなぜ歪められたか？

2026年9月4日（金）

日本平和委員会のYouTubeからアーカイブをご覧ください

憲法9条の破壊は、朝鮮戦争と52年安保条約による「米軍駐留」から始まり、自衛隊はそこで生まれます。1950年代は、冷戦と「赤狩り」、「レッドパージ」が展開した「浅ましい時代」（D.ハルバースタム）でした。この時代の朝鮮戦争が生んだアジアの冷戦構造、沖縄の悲劇について学びます。

講師／小沢 隆一

東京慈恵会医科大学名誉教授・日本平和委員会理事

第3回 60年安保条約の構造と60年安保の下での攻防

2026年11月6日（金）

憲法違反の安保条約は日本に押し付けられましたが、憲法9条は安保条約に独特の刻印を残しました。安保体制は9条を踏み破って展開しますが、それは9条によって制約を受けながらのものでした。その背景には1950年代以降の平和・憲法擁護運動があります。この運動と解釈改憲路線との関係について学びます。

講師／永山 茂樹

元東海大学教授・神奈川県平和委員会共同代表

第4回 ジェンダー平等で平和を実現しよう～「有害な男らしさ」と戦争との関係～

2027年1月8日（金）

家父長制を否定した憲法24条は、無権利だった女性の解放と権利保障を明記しました。ジェンダー平等の実現が平和構築に必要という世界の潮流を学び、新しい平和運動を模索します。

講師／岸 松江

弁護士・日本平和委員会代表理事

第5回 日米安保の現在

2027年3月5日（金）

大軍拡と基地機能強化・指揮態勢一元化・敵基地攻撃能力・弾薬備蓄など、憲法9条を蹂躪して進む日米安保体制をどう食い止めるか。「戦争する部隊」に変貌しようとする自衛隊や9条改憲の動きへの向き合い方などについて学びます。

講師／永山 茂樹

元東海大学教授・神奈川県平和委員会共同代表

第6回 本当の平和を求めて

2027年5月14日（金）

戦乱が続くこの世界に平和をもたらすためには、核兵器の廃絶と軍事同盟体制からの脱却がいまこそ求められています。日米核軍事同盟の解消は世界の平和との深い関係にあります。広範な核廃絶の声となおか細い安保廃棄の声、そのギャップをいかにして解消するのか、一緒に模索しましょう。

講師／石川 康宏 神戸女学院大学名誉教授

日本平和委員会代表理事

川田 忠明 日本平和委員会常任理事